

自然災害研究の最前線

富士山噴火と企業の対応

講師のご紹介

基調講演 「富士山の噴火史と災害予測—現状と課題—」

静岡大学 防災総合センター副センター長 小山 真人 (こやま まさと) 氏



〈略歴〉

静岡大学教育学部教授、防災総合センター副センター長。専門は火山学。1959 年静岡県浜松市生まれ。静岡大学理学部卒、東京大学理学博士（地質学）。火山噴火予知連絡会伊豆部会委員、富士山火山防災対策協議会委員、伊豆東部火山群防災協議会委員などを務める。主な著書は「富士山 大自然への道案内」（岩波新書）、「伊豆の大地の物語」（静岡新聞社）など

講演1 「富士山噴火への社会的対応」

静岡大学 防災総合センター 教授 岩田 孝仁 (いわた たかよし) 氏

(元静岡県危機管理監 兼 危機管理部長)



〈略歴〉

大阪市で生まれ 静岡大学理学部卒業後 1979 年に静岡県庁に入る。主に地震や火山防災対策など防災部門を担当。1995 年には阪神・淡路大震災直後の大阪府で防災計画の策定を手がける。2005 年 4 月防災情報室長、2008 年 4 月危機報道監、2014 年 4 月危機管理監兼危機管理部長、2015 年 3 月に静岡県を定年退職し 4 月から現職。これまでに 1983 年の日本海中部地震をはじめ国内外の地震や火山災害等の調査や支援を行う。日本災害情報学会監事、日本災害復興学会理事、中央防災会議の専門調査会や内閣府の火山防災エキスパート、気象庁など政府の各種委員を務める。

講演2 「富士山噴火防災の取り組みについて」

トヨタ自動車株式会社 東富士研究所管理部 部長 高橋 恭弘 (たかはし やすひろ) 氏



〈略歴〉

1959 年横浜市生まれ 1981 年一橋大学 経済学部を卒業後、トヨタ自動車株式会社に入社。人事部・労働組合専従・生産管理部・高岡工場工務部（カローラ生産）部長を経て、2006 年から約 4 年間 PSA との合併事業である チェコ・TPCA の社長を務める。帰国後 ヨーロッパ部・堤工場工務部（プリウス・カムリ生産）を経て、2012 年 東富士研究所管理部・部長（現職）人事労務管理、工場・事業所運営管理の経験が豊富である。